



FURUTECH e-TP809 NCF

電源ボックス ¥360,000(税別) ※6月発売

●コンセント: GTX-D NCF(R) ●電源インレット: FI-09NCF(R) ●筐体: アルミ合金削り出し+表面材にクロスカーボンを採用(アーキシャル ロッキングシステムで筐体との一体化による高剛性構造を実現) ●スパイク部: ナノ単位の特殊セラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で調合した制振ゴム ●内部配線: FURUTECHα-CB10ファイヤ(5.5mm) ●電磁波吸収材: GC-303 ●最大使用電流: 15A ●出力コンセント数: 6 ●入力: 15A IECインレット ●サイズ: 140W×328D×55.5Hmm ●質量: 3.32kg ●取り扱い: フルテック(株)

フルテックの新製品アクセサリ・特別レポート

予想を超える目の覚めるような効果 NCF素材により音質は数段アップ

静電対策として新開発された特殊素材であるNCF。フルテックでは同素材を人気アクセサリに続々と投入し、その絶大な音質効果は多方面で認められているところとなっている。そしてついにフルテックは、電源ボックスの上位モデルである「e-TP309」と「e-TP609」、そして最高峰のインラインフィルター「Flux50」もNCF仕様リニューアルを遂げた。そこで本項の前半部では福田雅光氏により、進化した3機種徹底レポートを行っている。なお後半部では小原由夫氏が新製品のフォノケーブルとともにアナログアクセサリを試しているの、こちらも合わせてご参照いただきたい。

Text by
福田雅光
Masamitsu Fukuda
Photo by 田代法生

■電源ボックス「e-TP809NCF」
NCF素材のコンセントで高級ボックスがさらに進化

TP609をベースに特殊素材NCF素材を採用したコンセントとインレットコネクタを搭載。最新鋭のパーツを採用してリニューアルした高級電源ボックスが登場した。2015年にフルテックは、NCF(ナノ・クリスタル・フォーミュラ)という素材を本体樹脂や絶縁樹脂材に混合することで、音質性能を飛躍的に向上させたパーツを開発していた。NCFとはナノ粒子化したイオン化する特性の強い鉱物素材を示し、樹脂とハイブリッド化された構造材全体を指している。パーツはすでに単売されているが、製品に応用した完成品の登場が期待されていた。それが、ようやく実現したのが今回の製品だ。コンセントは最高級パーツのGTX-D NCF(R)。インレットコネクタ部も無ハンダ固定方式、NCF素材採用のFI-09NCF(R)。いずれも高SN比で解像度に有利なロジウムメッキ仕様である。

中低域の分解力が高く
写実系の音質が特徴的

パワーアンプの経路でテストすると、高SN比で透明度の高い音質。混濁が少なく、輪郭の切れは多少あまい要素もあるが、十分なコントロールが得られ問題はない。低音で音は厚く音像は明確を構成。低域、中低域は締まりを効かせ、中高域はや



FURUTECH e-TP609 NCF

電源ボックス ¥158,000(税別) ※近日発売

●コンセント：GTX-D NCF(R) ●電源インレット：FI-09NCF(R) ●筐体：アルミ合金削り出し(アーキシャル ロッキングシステムで筐体との一体化による高剛性構造を実現) ●スライク部：ナノ単位の特殊セラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で調合した制振ゴム ●内部配線：FURUTECH α-22ワイヤ(3.8mm) ●電磁波吸収材：GC-303 ●最大使用電流：15A ●出力コンセント数：6 ●入力：15A IECインレット ●サイズ：130W×266D×56.5Hmm ●質量：2.94 kg



FURUTECH Flux-50 NCF Filter

インラインフィルター ¥89,000(税別)

●インレットプラグ：FI-50 NCF(R) ●ハウジング部：ステンレス合金の削り出し、内部には制振性のある特殊樹脂、さらに外側はカーボンファイバーで仕上げた3層構造 ●ケーブルクランプ部分：特殊金属 ●電極部：純銅(ロジウムメッキ処理+αプロセス処理)、プラグの樹脂部にNCF素材、アースジャンパーも装備 ●ケーブル：α-導体(OCC素材)の高密度導体+カーボンパウダー調合の高機能PVCの2重シース構造(外装は強度の高いナイロン編み組み) ●フィルター：直列コイル+コンデンサー(100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ成分を減衰) ●フィルター筐体：アルミ合金削り出し(電磁波吸収材「GC-303」を内蔵) + 外側はカーボンファイバー仕上げ(ハウジングにネオダンパーテクノロジーを採用)

この製品は電源経路に直列に挿入して使うノイズフィルターで、最高級モデルのFlux-50に高性能素材NCFを採用した、現在最高グレードのパーツを採用したりニューアルバージョンになる。インレットプラグ側を機器の電源入力、あるいは電源ボックスの入力に接続するなどして使う。フィルター部は、インレットコネクターと一体構造で、回路はコイルとコンデンサーで構成され、100kHzで約8dB、500kHzで約14dB減衰する性能を持つ。電極はロジウムメッキ、内部は振動の影響を防ぐためエポキシ樹脂を充填。ハウジングケース部は特殊制振素材ネオダンパー技術を採用、制振性をさらに強化。インレットプラグは先に単売されている同社最高級のFI-50 NCF(R)で、現在最高性能を誇る。この種の製品はフィルター以上に使われているパーツ、導体の性能が全体の性能に大きく関係する。

高速、高解像度が魅力 一級の効果を引き出す

CDプレーヤーにてテストすると、予想を超える目の覚めるような効果で注目。高S/N比で輪郭を明確に、音は引き締まる。コントラストが高く高速レスポンス、高解像度が魅力は一級。中低域は厚く透明度が高い。低音弦楽器は適度な縮まりと響きの厚み、音程の変化もしっかり描かれている。高音は繊細に混濁がなく、倍音がすっきりしている。ヴォーカル音像を明確に低音力も納得できる。写実性の性能を持つ効力が特徴。

やデッドな傾向も見せるが、オープンドックスなバランスで整ったものといえる。中低域の分解力が高く中高域の繊細性もよく出ている。ほぼニュートラルで自然なバランスであり、総合的な性能は写真系である。

■電源ボックス「e-TP609 NCF」 カーボンプレートを施し 制振力もさらに強化する

フルテック電源ボックスの最高級モデル「e-TP609」のバージョンアップモデル。高音質NCF素材採用のコンセントGTX-D NCF

(R)やインレットコネクター、削り出し加工によるアルミ合金筐体、アーキシャル・ロッキング方式で固定する構造など、基本的には前述のTP609 NCFと共通している部分が多い。最も特徴的な違いは、トッププレートにカーボンファイバーを採用し、美しい光沢デザインで仕上げた外観仕様であり、制振性もさらに強化している。

滑らかで潤いある質感表現
高S/Nで柔軟な音を構成
パワーアンプの経路でテストした。

音質は透明でなめらかに潤いのある質感を表現。輪郭やコントラストはマイルドになり、中低域が肉厚で安定。芸術性を感じさせる性能が特色になる。クオリティは高く、高S/N比で柔軟な音を構成する。また、抜け切りもよく、エレガントな味わいがある。低音弦楽器は質感に重みがあり深みのある表現がある。高音域の繊細さも良好。女性ヴォーカルは発声のニュアンスがふくよかになり、伸び伸びとくる。これはTP609 NCFとは性質に大きな違いがあった。この傾向は、同社の高級コ

■インラインフィルター「Flux-50 NCF」 フィルター以上に使われる パーツが性能に大きく起因

ンセントプレート1051DNCF(1万9800円)と大変似た性質がある。このプレートには非金属、非磁性素材を採用。中間のベース材は機能的樹脂をベースに特殊制振素材、そしてナノ単位のセラミック、カーボンパウダーで構成されたネオダンパー材。表面はNFCカーボンファイバーシートで構成されている。本誌で一斉比較レポートを紹介しているので、こちらもご参照いただきたい。